

明治大学 vs 早稲田大学

5月12日(日)
11:30K.O.
味フィ西

ここまで決して悪くないのに、勝ちきれなかったり決めきれなかったりで勝点を失ってきた明大だが、前節の順大戦は素晴らしい戦いにより順大を4-1で下し、ようやく復活の兆しを見せた。

「うまく戦えていたと思う。自信を持ってプレーできれば、このぐらいはいつもやれる」(神川明彦監督)

前半25分に先制しながら、37分に失点して同点に追いつかれてしまった。いつもならそのままズルズルといってしまうが、後半3分に2点目を奪ったのが大きかったのは間違いない。

「このまま(前半戦の)残り3試合を戦ってくれば問題ない」(神川監督)

相手の長所をしっかりと消して、自分たちのよさを出すことに成功していたように、完全に調子を上げたといっている。ボール際もしっかりと強くいく、本来の明大らしさを発揮していただけない、これを続けていきたい。

東洋大を相手に、決して完璧な試合内容ではなかった前節の早大。ただし、結果的に接戦をモノにしたように、早大のパターンだったともいえる。

「粘り強い守備ができていた。攻守の切り替えの部分で相手のポジションが落ちつく前にプレッシャーをか

け、長いボールを蹴らせるということができた。やりたいプレーができていた」

と、古賀聡監督もゲームを振り返った。一方でシュートが6本だったように、

「なかなかチャンスを作れなかった。スピーディーな攻撃の中でも、プレーの精度や質を高めてフィニッシュまでいける回数を増やしていきたい」(古賀監督)

首位・専大の背中が見えてきただけに、ここで負けるわけにはいかない。

昨年の対戦：前期/明大3-2早大、後期/明大2-1早大
明大 早大

2. 八塚	10. 矢田	7. 近藤貴	12. 八角
12. 小池	9. 西澤	9. 榎本	2. 奥山
6. 水野		18. 小松	
1. 三浦		1. 松澤	
17. 差波		5. 池西	
3. 山越	33. 三苦	19. 上形	13. 金澤
5. 小川	8. 和泉	8. 近藤洋	6. 三竿

専修大学 vs 筑波大学

5月12日(日)
13:50K.O.
味フィ西

ついに専大の連勝が5でストップ。開幕からここまで快調に飛ばし続けてきただけに、この敗戦で精神的なショックがあるか否かが第一のポイントだ。

試合に関していえば、立ち上がりがすべてだった。開始直後の14分に一発退場で一人少ない状況に陥ると、そのPKから失点。そこで耐えられれば勝機はあったはずだが、21分にもPKを与えてしまったのが痛かった。

前節はセンターバック本名正太郎(4年)が出場停止だったのも影響したが、今節は北爪健吾(3年)が出場停止。もともと守備には不安を抱えているだけに、その影響が第二のポイントといえるだろう。

現在の状況でいえば、守備の不安定さは攻撃でカバーしていくしかない。前節、2ゴールこそ挙げたものの、前半は風下だったとはいえシュート数ゼロに終わったように、もっと戦い方があったはずだ。ここでつまずくようだと3連覇に黄色信号がともる。

一方の筑波大も、これ以上は負けられない。前節は中大に0-2の敗戦を喫し、勝点を5から伸ばすことができず、残留争いに巻き込まれている。こちらも前半36分に退場者を出すなど、比較的早い時間帯に数的不利に立たされて苦戦を強いられた。

2失点のうち、PKから1失点。一人少ない状況もあり、0-2の敗戦とはいえ致し方のない部分もあるが、「攻撃がどうしても崩しきれなかった。サイドからのクロスも中途半端だし、前では赤崎(秀平・4年)だけが狙っている感じ。修正しなければならない」(中山雅雄監督)

今節は谷口彰悟(4年)が出場停止と厳しい状況が続くが、ここで耐えしのげるか。前半戦の山場だ。

出場停止：北爪健吾(専大)、谷口彰悟(筑波大)
昨年の対戦：前期/専大5-2筑波大、後期/専大3-1筑波大
専大 筑波大

5. 山崎	11. 前澤	11. 中野	6. 片岡
4. 本名		2. 田代	
7. 長澤		8. 上村	
1. 福島	6. 河津	9. 稲葉	9. 赤崎
10. 玉城	1. 神舎		
8. 下田		7. 葺本	
3. 萩間		5. 車屋	
34. 小口	10. 仲川	13. 曾山	12. 三丸

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.7 Division1



編集：加茂郁実 印刷：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大、日体大が相次いで敗れる波乱!

ゴールデンウィークの連戦の最後となった、『JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦』第7節。連戦が影響したのか、上位チームが相次いで敗れるなど波乱が続出。その前節を振り返ってみよう。開幕から5連勝中だった専大は流経大と対戦。前半14分と早い時間帯に退場者を出し、そのPKから先制点を献上してしまうと、続いて21分にもPKから失点。一人少ない状況で2点のビハインドは厳しかった。それでも後半23分に1点差に詰め寄って反撃ムードを演出しようとしたが、38分には3失点目を喫して万事休す。45分に1点を返したが2-3で敗れ、連勝は5でストップしてしまっただけでなく、逆に、流経大はようやく2勝目。これをきっかけにしたい。

第5節で引き分け、連勝がストップした日体大。前節は桐蔭大と対戦し試合を優位に進めたものの、30分にCKから失点して追う立場になりながら攻めきれず、0-1の敗戦を喫してしまっただけでなく、桐蔭大はようやく初白星をゲットした。

早大は東洋大とのゲーム。決して完璧な試合内容ではなかったが、早大らしさを発揮して後半19分にゴールをゲット。そのまま逃げきり1-0で東洋大を下し、2位の日体大をとらえた。

明大と順大の一戦は、明大が要所でしっかりとゴールを決め4-1で順大

得点ランキング

長澤 和輝(専大)	6点
仲川 輝人(専大)	5点
武藤 嘉紀(慶大)	4点
長谷川竜也(順大)	4点
前澤 甲気(専大)	4点
三橋 隼斗(明大)	4点

アシストランキング

仲川 輝人(専大)	3アシスト
以下2アシスト10名	

を撃破。順大は途中で集中が切れてしまった。中大 vs 筑波大は、筑波大が前半36分に退場者を出したこともあって中大が終始圧倒。2-0で勝利を収めた。

互いに結果を出しきれない国士大と慶大のゲームは、国士大が後半9分までに2点をリードしたが、その後、慶大が奮起して3ゴール。3-2の大逆転勝ちで、リーグ戦初勝利を挙げた。国士大は守備が崩壊してしまっただけでなく、前半戦は残り3試合。混戦模様となってきたが、ここで抜け出すチームは現れるのか!?

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	日体大	早大	明大	中大	流経大	順大	筑波大	東洋大	桐蔭大	慶大	国士大	勝数	敗数	同点	得失点差	勝点		
1	専大		5月26日 後半戦	後半戦	5月18日 2●3	2●1	5月12日	3●1	6●2	6●1	2●1	5●0	2●1	5●0	1	1	21	9	12	15
2	日体大	BMWス		5月18日 後半戦	1●0	2●0	1△1	後半戦	3●1	0●1	5月11日	1●0	4●1	1	1	8	3	5	13	
2	早大	後半戦	たつこの		5月12日	後半戦	3●0	0●1	1●0	1●0	1△1	2●1	5月25日	4●1	1	8	3	5	13	
4	明大	後半戦	後半戦	味フィ西		5月26日	0△0	4●1	5月19日	0●1	3●2	2△2	2●1	3●2	1	11	7	4	11	
5	中大	味フィ西	0●1	後半戦	味フィ西		5月11日	2●0	2●0	1△1	1△1	1●0	後半戦	3●2	1	7	3	4	11	
6	流経大	3●2	0●2	0●3	0△0	たつこの		5月18日	1△1	後半戦	5月26日	3●1	後半戦	2●2	2	7	9	-2	8	
7	順大	1●2	1△1	1●0	1●4	0●2	味フィ西		5月25日	5月11日	後半戦	後半戦	5●0	2●1	3	9	9	0	7	
8	筑波大	味フィ西	後半戦	0●1	川口	0●2	1△1	味フィ西		5△5	1●0	後半戦	1●2	1●2	3	8	11	-3	5	
9	東洋大	1●3	1●3	0●1	1●0	1△1	後半戦	古河	5△5		後半戦	5月26日	5月19日	1●2	3	9	13	-4	5	
10	桐蔭大	2●6	1●0	1△1	2●3	1△1	BMWス	後半戦	0●1	後半戦		5月18日	5月11日	1●2	3	7	12	-5	5	
11	慶大	1●6	古河	1●2	2△2	0●1	1●3	後半戦	後半戦	味フィ西	たつこの		3●2	1●1	4	8	16	-8	4	
12	国士大	1●2	0●1	味フィ西	1●2	後半戦	後半戦	0●5	2●1	川口	味スタ西	2●3		1●0	5	6	14	-8	3	

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/



国士舘大学 vs 桐蔭横浜大学

5月11日(土)
13:50K.O.
味スタ西

前半5分に先制点を奪い、後半4分にも追加点。理想的なゲーム展開で前節の慶大戦を進めていた国士大だったが、後半10分に失点すると44分にPKから同点に追いつかれ、さらに同じく44分にクリアボールからシュートを決められて、勝点1すら失ってしまった。

「非常に悔しい。弱気になってしまっていた。PKと、もう一度打てといっても打てないようなゴールが決まって負けてしまった」(細田三二監督)

何とも悔しい敗戦となってしまった。

「2-0まではよかった。相手の0トップ気味のフォーメーションに対しても対応できていた」(細田監督)

というように守備はしっかりとできていたが、ここまでなかなか勝てていないことが精神的にも影響。相手の気迫を前に守勢に回ってしまい、終盤の2失点につながってしまったのは間違いない。

「2点のリードが、逆に下がって守ろうという気持ちにってしまった」(細田監督)

最後まで積極的な姿勢を貫きたい。

前節で日体大を破り、1部初勝利を挙げた桐蔭大。「歴史的な勝利となり、すごくうれしい」(八城修監督)

これまでのメンバーから、何人かを入れ替えての戦い

となったが、「初出場の選手たちが活躍してくれたので、二重にうれしい」(八城監督)

というように選手全員が堂々とプレーし、勝利に向けてハードワークした。一方で、「もっとボールを大事にたい。パスをつないだり、ボールを失わないようにしたい。相手より有利に立っていたとは思いますが、少し怖がったり判断のスピードは遅かったので改善したい」(八城監督)

昨年の対戦：リーグ戦での対戦はなし

国士大		桐蔭大	
12. 加藤	14. 進藤	8. 山崎	3. 香西
22. 今瀬	25. 木下		6. 福島
	3. 吉田		9. 大泉
21. 久保田		10. 坪井	5. 金子 1. 島崎
	19. 海野		37. 末廣
13. 仲島	38. 下田		4. 古澤
29. 山田	2. 石川	40. 佐々木	20. 長谷

順天堂大学 vs 東洋大学

5月11日(土)
11:30K.O.
古河

「長いリーグ戦だから、こういったゲームになってしまうこともある」(順大・吉村雅文監督)

開幕から結果はともかく、いい内容のゲームが続けてきた順大だったが、前節の明大戦は1-4の大敗を喫してしまった。

「2失点は仕方がないにしても……」(吉村監督)

前半25分に先制点を奪われながら、37分に同点に追いつく粘りを見せたが、後半3分に失点すると徐々にリズムを崩してしまい、最終的には4失点。

「耐えるべきところで耐えきれなかった」(吉村監督)

いつもはボールを奪ってから早い攻撃を仕かける順大だが、この日はうまくボールの取りどころを作ることができなかった。ここまでうまくいっていただけに、この大敗が響かなければいいが……。

「しっかりと立て直せば問題ない」(吉村監督)

早大に0-1の敗戦を喫した東洋大。開幕戦で明大を破ってから2引き分けがあるものの、白星から遠ざかっているだけに勝点3が欲しいところ。

「チームとしてバランスは取れてきているので、その中で得点することと、失点しないことが必要。1部リーグでやっていく中で、自分たちでどういうふうゲームを

作っていくかは学んでいきたい。守備の部分ではだいぶ安定感が出てきている」(古川毅監督)

ディフェンス面ではしっかりと修正が図れているだけに、その守備をこなしながらも、いかに攻撃に結びつけるかが今後の課題だ。

「勝とうが負けようが引き分けようが、次の試合にいい準備をして臨むことは変わらない。いいトレーニングをして、いい準備をして勝点3を目指して頑張る」(古川監督)

昨年の対戦：リーグ戦での対戦はなし

順大		東洋大	
27. 飛田	9. 岡庭	11. 黒須	7. 馬渡
13. 宮本			12. 内田
	15. 青木		8. 年森
21. 大畑	14. 長谷川竜	13. 川森	10. 桑田 1. 浅沼
	12. 進藤		33. 篠田
4. 谷奥			4. 郡司
16. 吉永	7. 和田	9. 三田	16. 筑井

中央大学 vs 流通経済大学

5月11日(土)
13:50K.O.
たつご

筑波大を2-0で下した中大だが、白須真介監督の表情は曇ったまま。

「90分を通して、自分たちが主導権を握った時間が少なかった」(白須監督)

シュート20本を打って筑波大を圧倒したが、前半36分に相手選手が一人退場になったという側面もあるだけに、手放しでは喜んでいられない。優位な立場に立っただから、もっと自分たちでゲームをコントロールしたかったところだ。

「相手が10人になってから、リスクのあるプレーが少なくなってしまった。もっと数的優位を生かす状況を作ったり、ボールを動かすリズムを変えて、チャンスを増やすゲーム展開をしなければいけない」(白須監督)

一方で守備に関しては、「相手を把握して、ブロックを作れたのはよかった」(白須監督)

残り3試合、勝点を積み重ねながら、さらに内容を濃くしていきたいところだ。

首位の専大を破って、2勝目を挙げた流経大。「相手に退場者が出たこともあるが、どこも勝てなかった専大にウチの学生が魂を込めて試合に臨むことができ

た」(中野雄二監督)

前半14分に相手に退場者が出て、PKから2得点した前半から一転。後半は風下ということもあったが、攻め込まれて2失点しまった。

「相手が一人少ないのにあれだけチャンスを作られてしまい、2失点。まだ課題はたくさんあった」(中野監督)

決して手放しで喜べる内容ではないだけに、さらに内容を突き詰めていきたい。

出場停止：川越勇治(中大)

昨年の対戦：前期/中大2-2流経大、後期/中大0-1流経大

中大		流経大	
6. 高瀬	17. 右高		3. 鈴木
27. 小出		11. 土屋	5. 川崎
	8. 田辺		6. 富田
1. シュミット	25. 渋谷	18. 田上 14. 西谷	1. 原田
	4. 細見		34. 杉山
3. 大和田		20. 江坂	36. 有賀
2. 古賀	9. 木村		16. 湯澤

日本体育大学 vs 慶應義塾大学

5月11日(土)
13:50K.O.
古河

開幕から好調だった日体大だが、5節で引き分けると、前節は開幕から勝ち星がなかった桐蔭大に0-1の敗戦。

「連戦で疲れている中で戦ったとはいえ、(中2日の自分たちに対して)桐蔭大は中1日。スピリットを燃やしてきたことに対して、自分たちが受け身になってしまった」(倉又寿雄監督)

失点の場面はCKからだったが、そのほかの流れの場面でもうまくいかないことが多く、「運動量や切り替えの速さも桐蔭大が上」(倉又監督)

というように、疲れやプレッシャーから自分たちのサッカーを披露しきれなかったという感じだ。

終盤になって前へ前へという意識が出てきたように、立ち上がりから自分たちのサッカーができていれば結果は分からなかったというゲームだっただけに、この試合も立ち上がりがカギになりそうだ。

前節、国士大を相手に大逆転勝利を収めた慶大。今季初勝利を挙げただけに、この勢いのまま残り3試合を勝ち切りたいところだ。

前半5分、後半4分と立ち上がりに失点してしまったのは修正点。ただ、終盤に2ゴールを奪って劇的な勝利

となったのは、「0-2になったけれど、あきらめないで最後までたかったことが一番よかった」(須田芳正監督)

というように、精神的な強さが出てきた。それだけに、もっと試合の入り方も集中したいところ。「ここ数試合、前後半の立ち上がりの失点が続いているのは反省しなければいけない。その原因は何なのかを分析したり、選手たちと話していきたい」(須田監督)

警告3回：松下純土(慶大)

昨年の対戦：前期/日体大2-2慶大、後期/日体大1-2慶大

日体大		慶大	
2. 宮内	15. 阿部	29. 山田	28. 飯高
5. 中西	11. 北脇		35. 望月
	6. 石井		8. 松下
1. 伊藤		20. 端山 36. 淡野	12. 福本
	8. 中田		5. 増田
4. 菊地	9. 田中		4. 保田
35. 川田	7. 梅村	10. 武藤	33. 溝渕

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想